



2020年7月15日 (水)

第60期 (2021年3月期) 第1四半期決算説明会

(2020年4月1日~2020年6月30日)

| | | |
|---------|---------------|--------|
| 代表取締役社長 | 最高経営責任者 (CEO) | 保木 潤一 |
| 執行役員 | 管理本部長 | 川久保 秀樹 |

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第60期（2021年3月期）第1四半期損益計算書



| 単位：百万円 切捨て | 19.6 59期1Q実績 | | 20.6 60期1Q実績 | | 前年比 | |
|---------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 9,038 | | 8,376 | | △661 | 92.7% |
| 営業利益 | 1,335 | 14.8% | 1,143 | 13.7% | △191 | 85.7% |
| 経常利益 | 1,401 | 15.5% | 1,251 | 14.9% | △149 | 89.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 986 | 10.9% | 908 | 10.8% | △78 | 92.1% |
| E P S | 32.66円 | | 30.04円 | | | |

HOGY

4

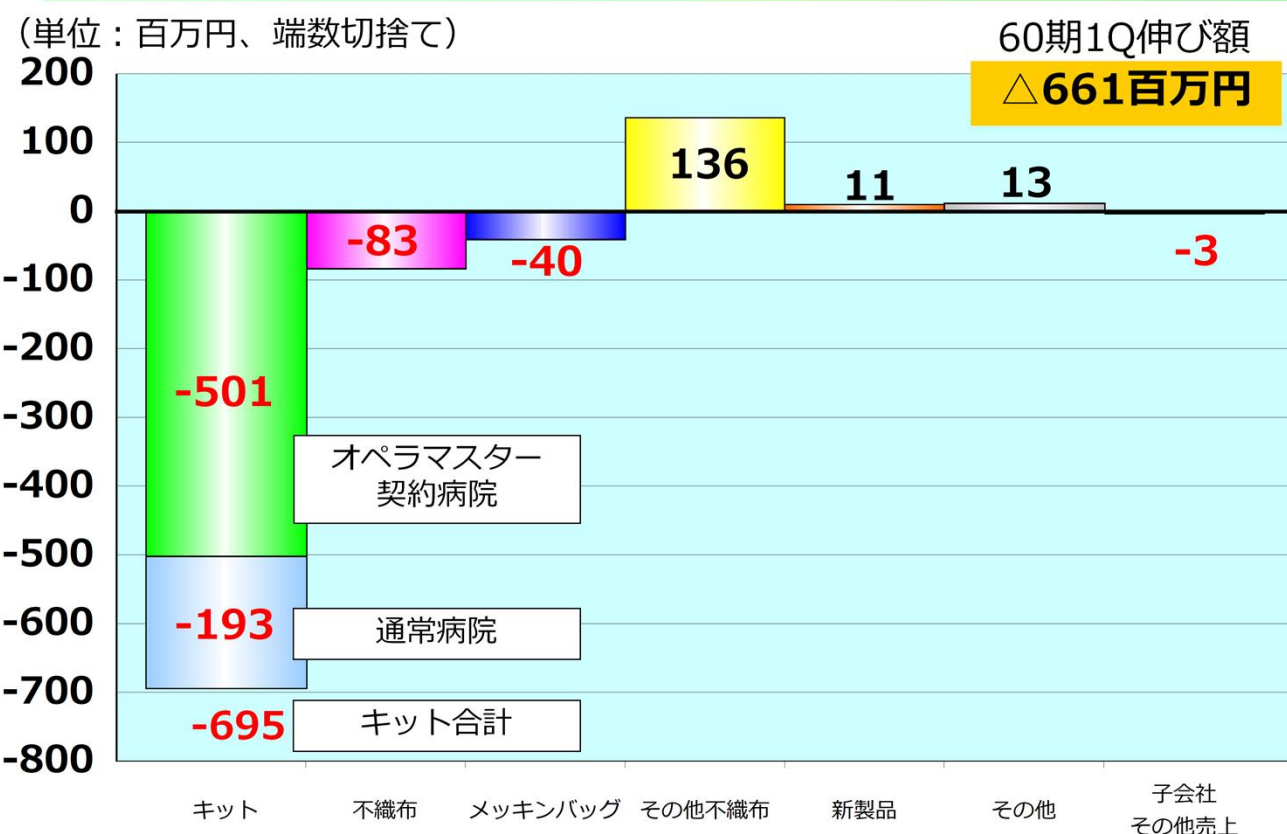
■ 減収減益

売上高 : 新型コロナにより手術件数が減少(延期)し、KIT製品を中心に影響を受ける
 : 需要増加製品や供給不安製品は特需が発生
 : 手術の減少（延期）は5月をボトムとし6月は改善傾向

原価率 : 58.2%(前年比+0.2pt、計画比+1.3pt)
 製造量減少による生産性への影響と償却費の減少の相殺により、原価率はわずかに上昇

販売管理費 : 新型コロナによる営業活動量の減少により旅費交通費、見本費の減少

第60期（2021年3月期）第1四半期 主な製品の売上高伸び額



HOGY

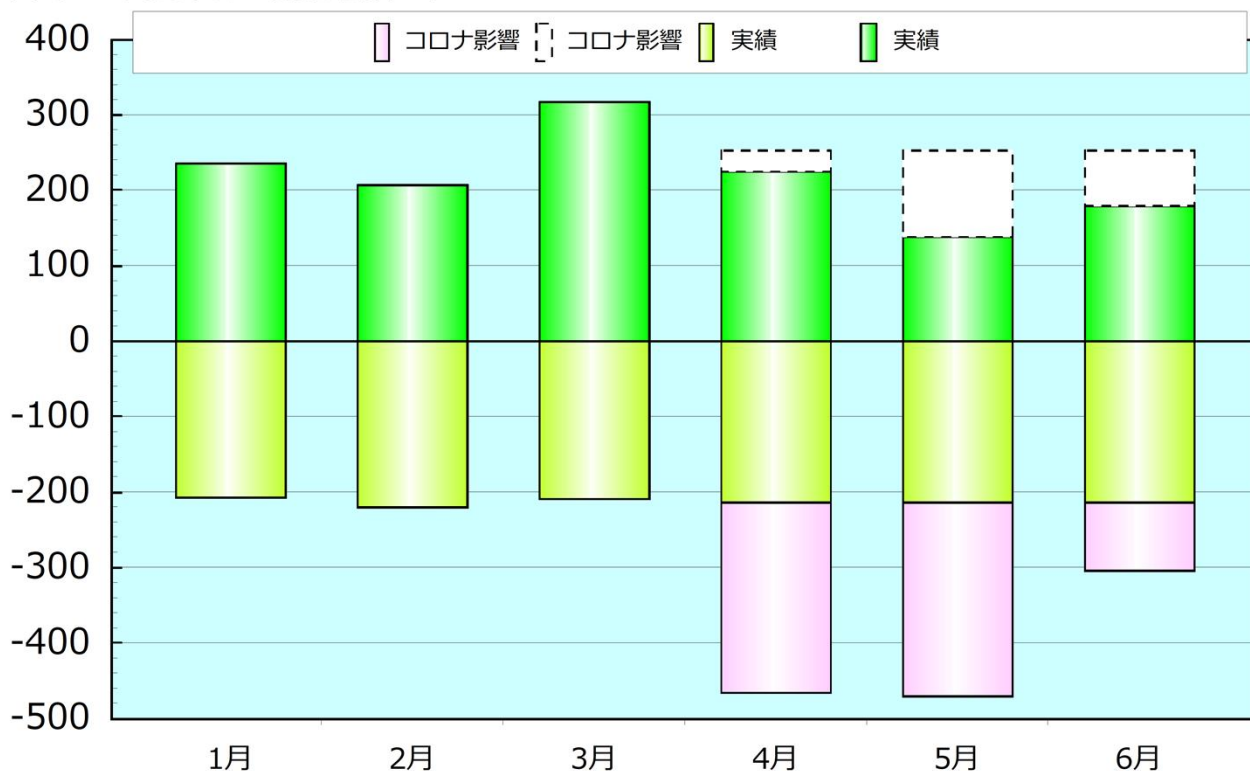
5

- ・新型コロナにより手術件数が減少(延期)し、KIT製品を中心に減収
- ・その他不織布（マスク）と不織布（ガウン）は特需が発生
- ・医療機関で起きた医療材料不足への対応
- ・緊急事態宣言中は営業活動の自粛を継続
* 医療機関の意向を確認して活動
- ・オペラマスター 新規契約数1施設、解約1施設

キット製品 消費先別 月別増減推移 コロナ影響



(単位：百万円、端数切捨て)



HOGY

6

・4月よりKIT販売額が減少し、5月をボトムとして6月は改善傾向へ

・ 新型コロナによるキット製品への影響

✓ 影響額 : Δ 820百万円

* 4月 : Δ 290百万円、5月 : Δ 370百万円、6月 : Δ 160百万円

✓ 影響数 (手術用キット) : Δ 76,000組

* 4月 : Δ 23,000組、5月 : Δ 34,000組、6月 : Δ 19,000組

・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向にある

第1四半期 製品別 新型コロナ影響額

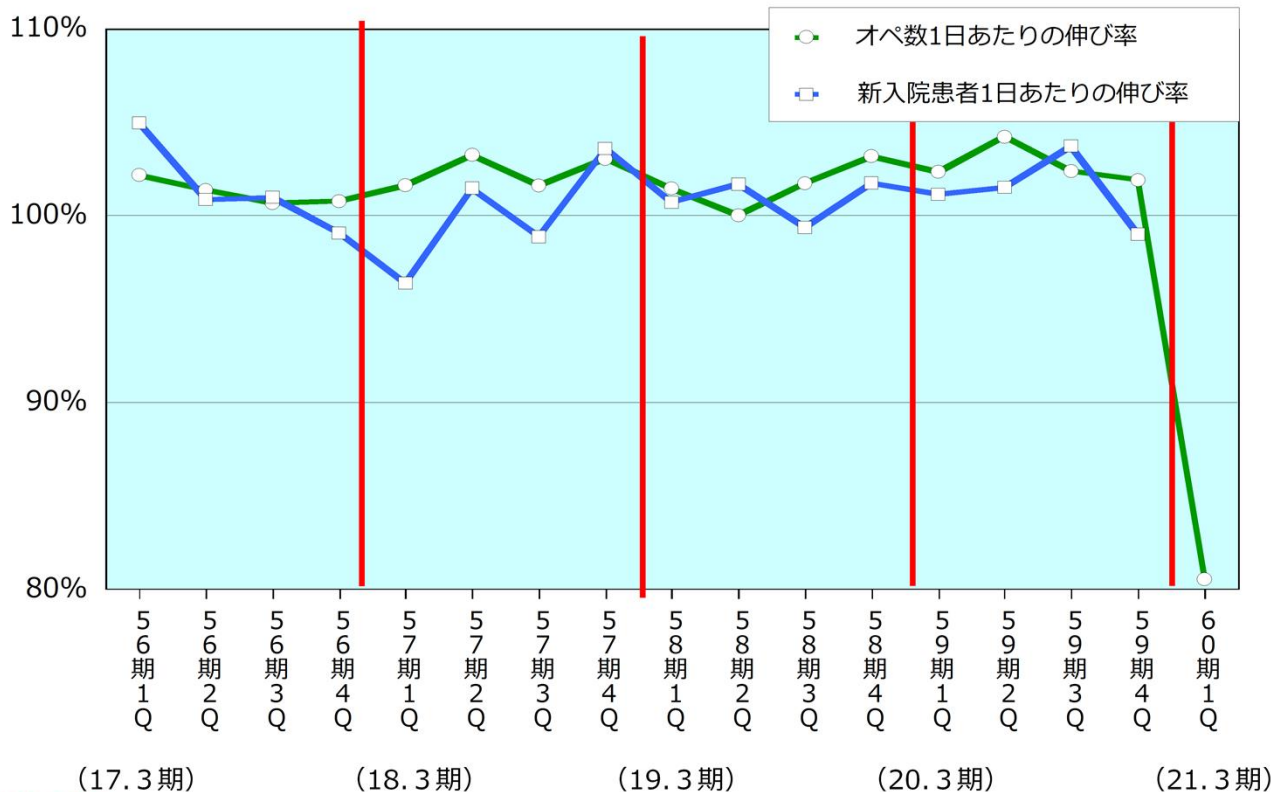


| | 特需 影響額 | 減少 影響額 |
|---------|--------|-----------|
| KIT | | △820百万円 |
| 不織布 | 120百万円 | △160百万円 |
| メッキンバック | | △40百万円 |
| その他不織布 | 160百万円 | |
| その他 | 20百万円 | |
| 合計 | 300百万円 | △1,020百万円 |

総計: △720百万円

- ・ 新型コロナの影響を除いた場合は、前年比58百万円（100.6%）であったと想定

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



HOGY

- ・オペラマスター契約病院では第1四半期間で約2割の手術件数が減少
- ・弊社調べによる約1700病院での手術件数は4月28%減⇒5月32%減⇒6月22%減と推移していると推測
- ・7月の動向は発表時点では前年と同水準まで回復

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書



| 単位：百万円 切捨て | 20.3 59期実績 | | 21.3 60期計画 | | 前年比 | |
|---------------------|---------------|-------|---------------|-------|-------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 37,232 | | 38,700 | | 1,467 | 103.9% |
| 営業利益 | 5,307 | 14.3% | 6,400 | 16.5% | 1,092 | 120.6% |
| 経常利益 | 5,791 | 15.6% | 6,830 | 17.6% | 1,038 | 117.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 5,529 | 14.9% | 5,300 | 13.7% | △229 | 95.8% |
| E P S | 183.07円 | | 175.34円 | | | |

HOGY

10

■ 増収減益

- ・ 売上高：「働き方改革・医療安全」提案に加え、医療機器メーカーとして「**安定供給**」の責務を担う
 - ：感染症防護製品の増強
 - ：海外事業展開の拡大
- ・ 生産(原価率)：償却費の減少
 - ：サージカルガウン販売増加に伴う販売構成の変動

■ 医療機関での「医療材料不足」を解消するため、インドネシアにてサージカルガウンの製造拡大

通期見通しの考え方について

■ 通期予測の不透明感

- ✓ 医療機関での手術件数は回復基調にある
- ✓ 第2波の発生や小康状態の長期化などの懸念事項が依然として残る

■ 今後の手術件数増加を検討する医療機関が増加の可能性

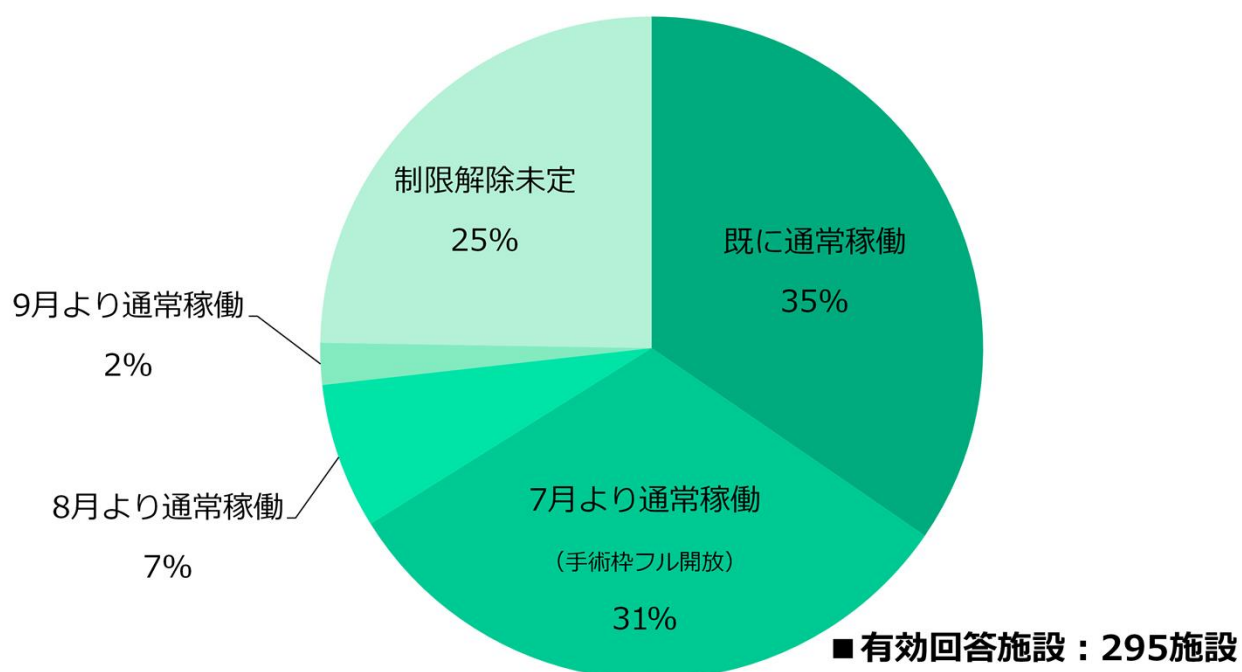
- ✓ 後回しにした手術の取込が必要
- ✓ 手術減少による経営の悪化

■ 医療機関での人員不足が加速する可能性があり、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化

当社調べによる医療機関の意向 *6月中旬調査



■ 大病院への調査結果では約66%の医療機関が
7月中に手術が通常稼働となると回答



HOGY

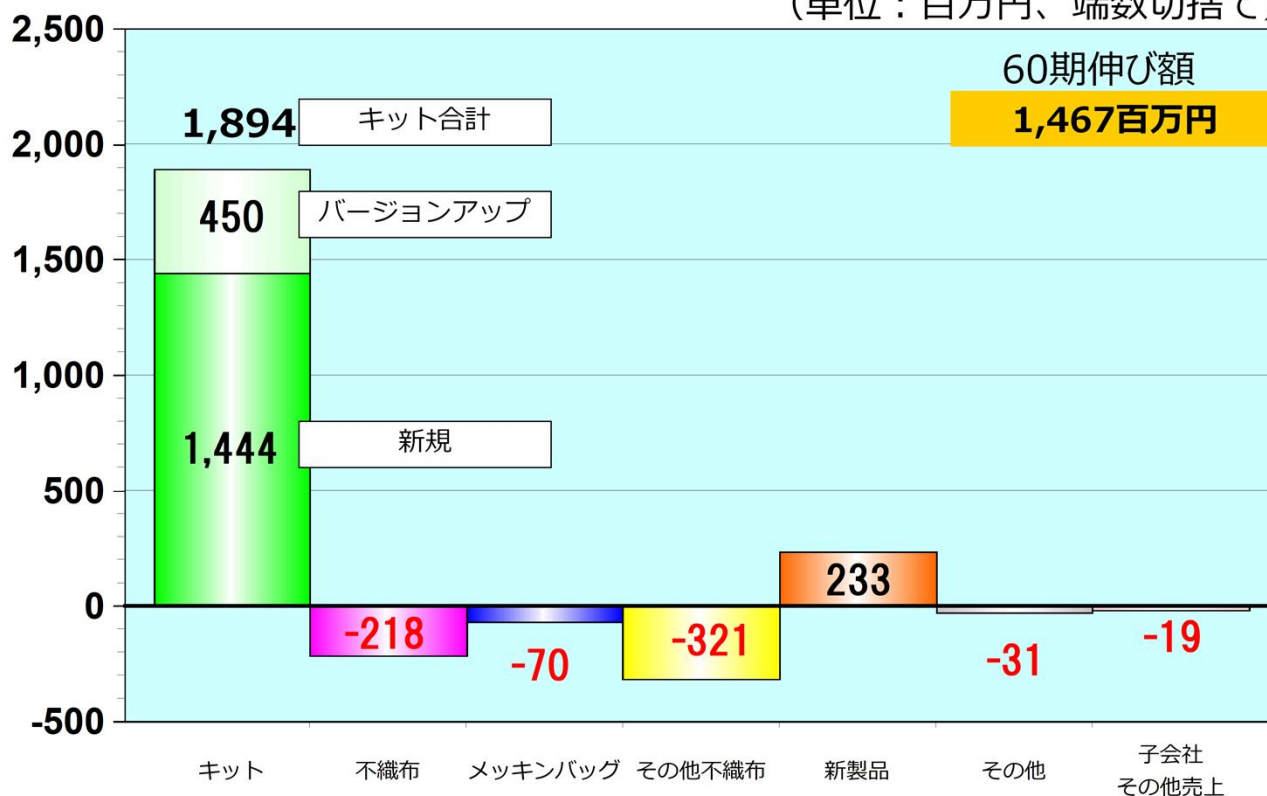
12

・ 6月中旬に当社営業員が大病院に対して、今後の手術室運営状況について295施設の調査を行った結果

・ 約66%の施設が7月中に通常状態の手術室運営に戻すと推定

第60期（2021年3月期）主な製品の売上高増減額

（単位：百万円、端数切捨て）



■医療機関での「人員不足」を解消するためにプレミアムキットの拡販

■感染症防護製品の増強

- ・プリコーションセットの上市



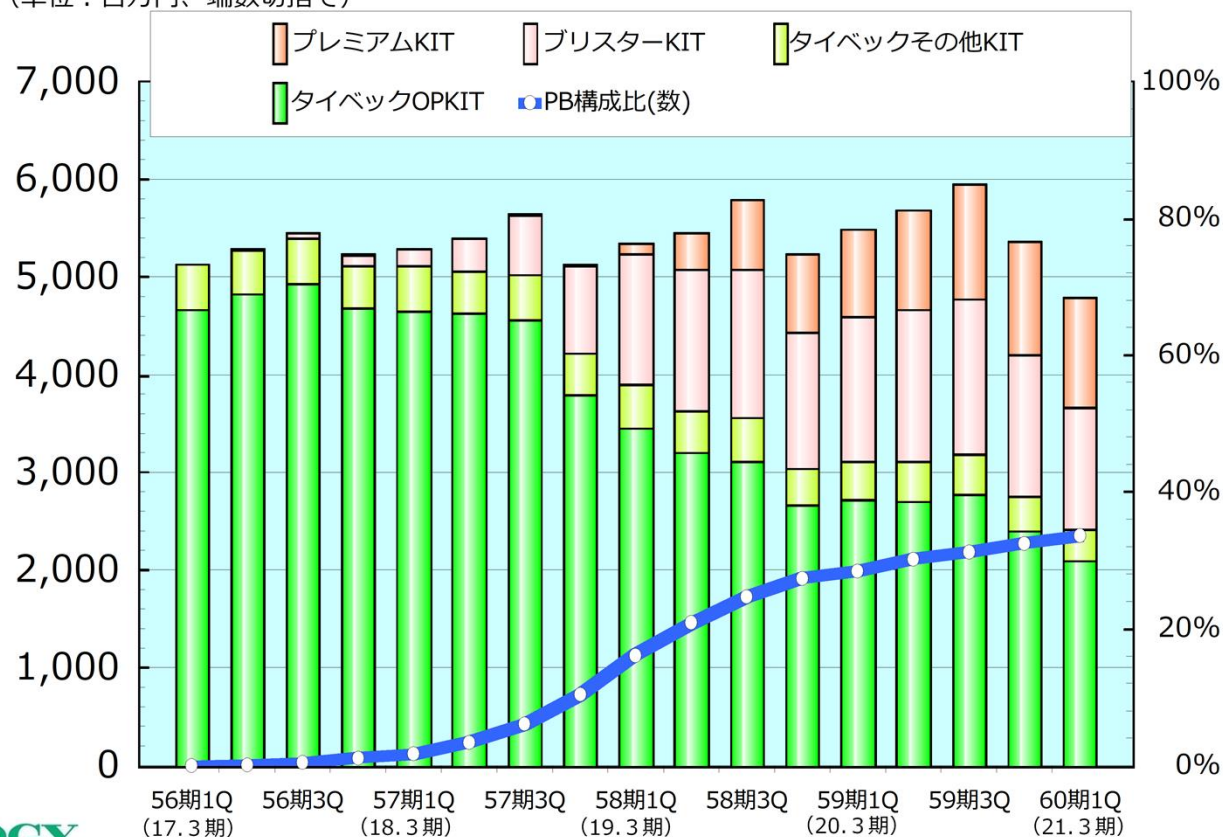
（プリコーションセット内容）

- ・サージカルガウン、フェイスシールド、N95マスク、グローブ、シューズカバー、キャップ

実績の詳細

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数切捨て)



HOGY

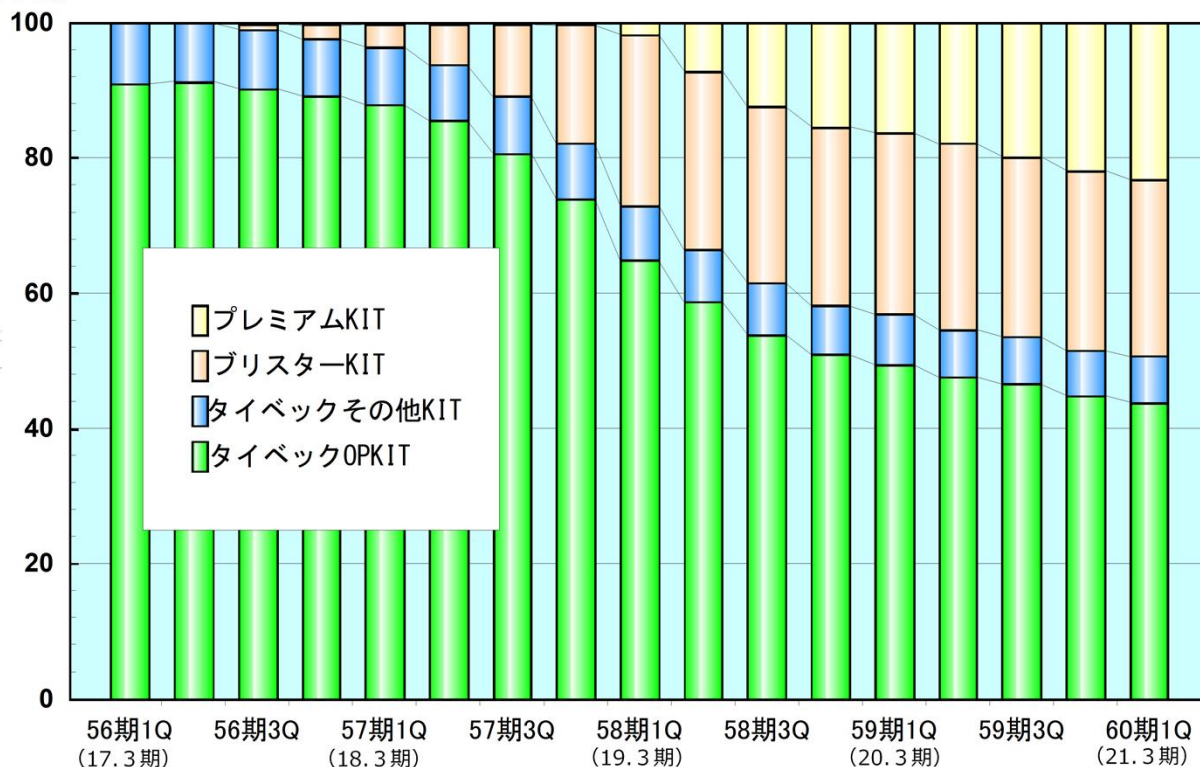
15

- ・ 新型コロナの影響でタイベックキットを中心に販売量が減少
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向にある
- ・ 60期第1四半期 前年比
 - ✓ プレミアム、ブリスター： +1百万円、100.1%
 - ✓ タイベックキット： △697百万円、77.6%

キット製品 販売構成比 推移



(単位：%)



HOGY

・新型コロナの影響によりタイベックキットが減少したことにより、プレミアムキットの構成比が上昇

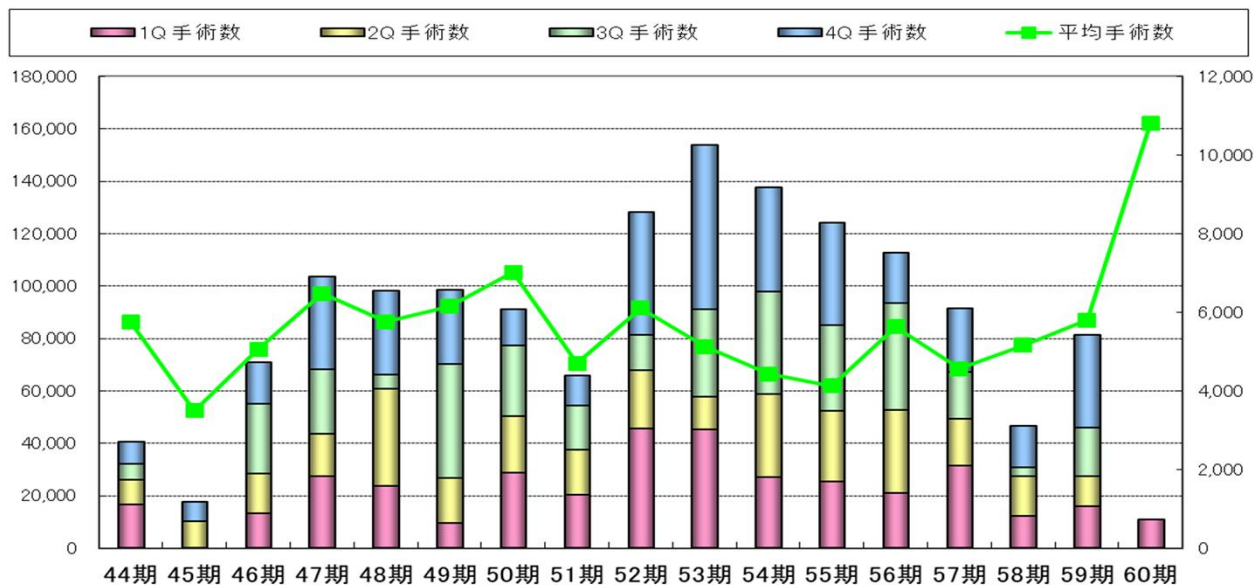
オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 : 3,167百万円 (前年比△501百万円 : 86.3%)

60期契約施設数 : 新規1施設、解約1施設

累計契約施設数 : 278施設

(単位:手術件数)



HOGY

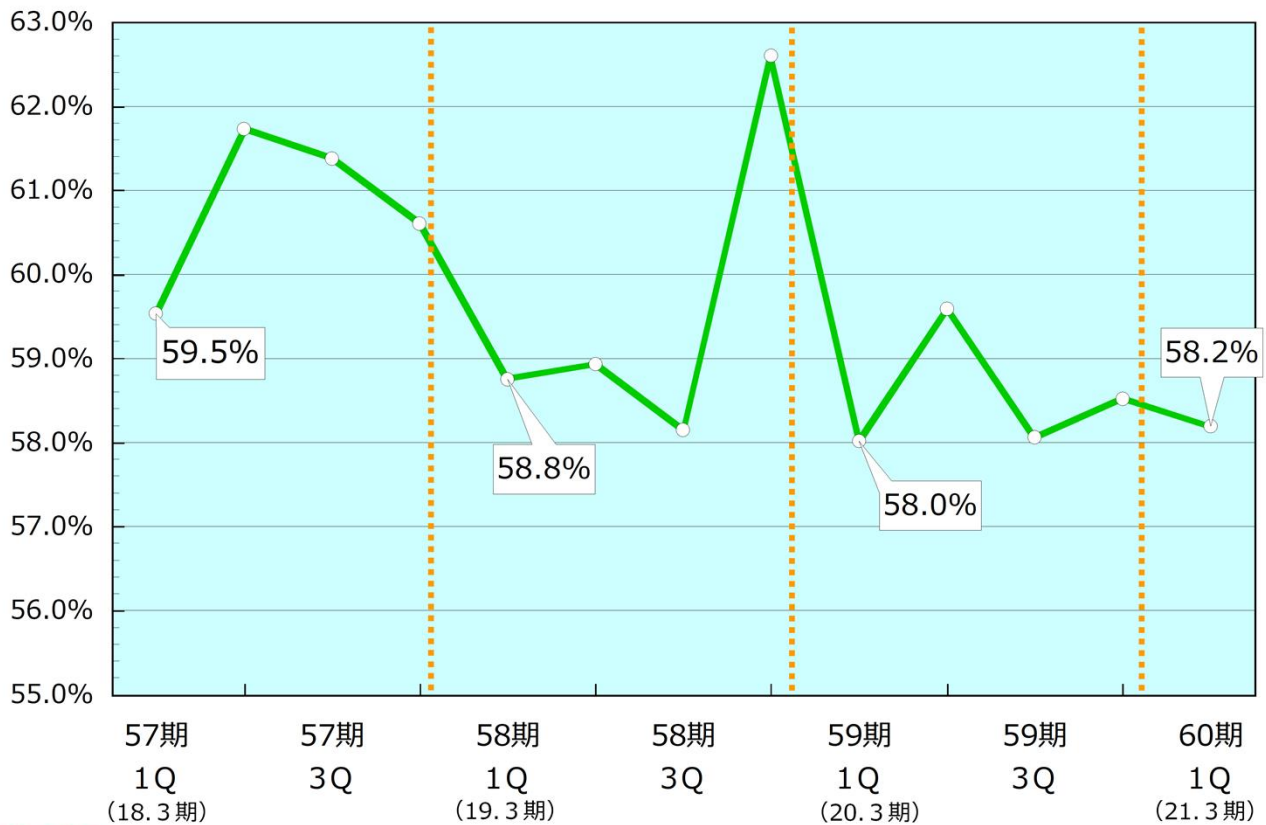
(21.3期)

17

- 60期契約病院1件 (I群1件)

- オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率推移



HOGY

18

- ・ 製造量減少に伴う生産性への影響 (約150百万円)

- ・ 新工場償却費の減少

償却合計 : 1,112百万円 (前年比 : 177百万円減)

- ・ 原価 : 897百万円 (前年比 : 131百万円減)

- ・ 販管費 : 214百万円 (前年比 : 45百万円減)

第60期（2021年3月期）第1四半期損益計算書



| 単位：百万円 切捨て | 20.3 59期1Q実績 | | 21.3 60期1Q実績 | | 前年比 | |
|---------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 9,038 | | 8,376 | | △661 | 92.7% |
| 売上原価 | 5,243 | 58.0% | 4,874 | 58.2% | △368 | 93.0% |
| 売上総利益 | 3,794 | 42.0% | 3,502 | 41.8% | △292 | 92.3% |
| 販売費及び一般管理費 | 2,459 | 27.2% | 2,358 | 28.2% | △101 | 95.9% |
| 営業利益 | 1,335 | 14.8% | 1,143 | 13.7% | △191 | 85.7% |
| 営業外損益 | 66 | | 107 | | 41 | |
| 経常利益 | 1,401 | 15.5% | 1,251 | 14.9% | △149 | 89.3% |
| 特別損益 | △0 | | - | | 0 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 986 | 10.9% | 908 | 10.8% | △78 | 92.1% |
| E P S | 32.66円 | | 30.04円 | | | |

| 主な増減科目 | 前年比 |
|--------|-----|
| 人件費 | 98 |
| 旅費交通費 | △70 |
| 見本費 | △51 |
| 減価償却費 | △45 |

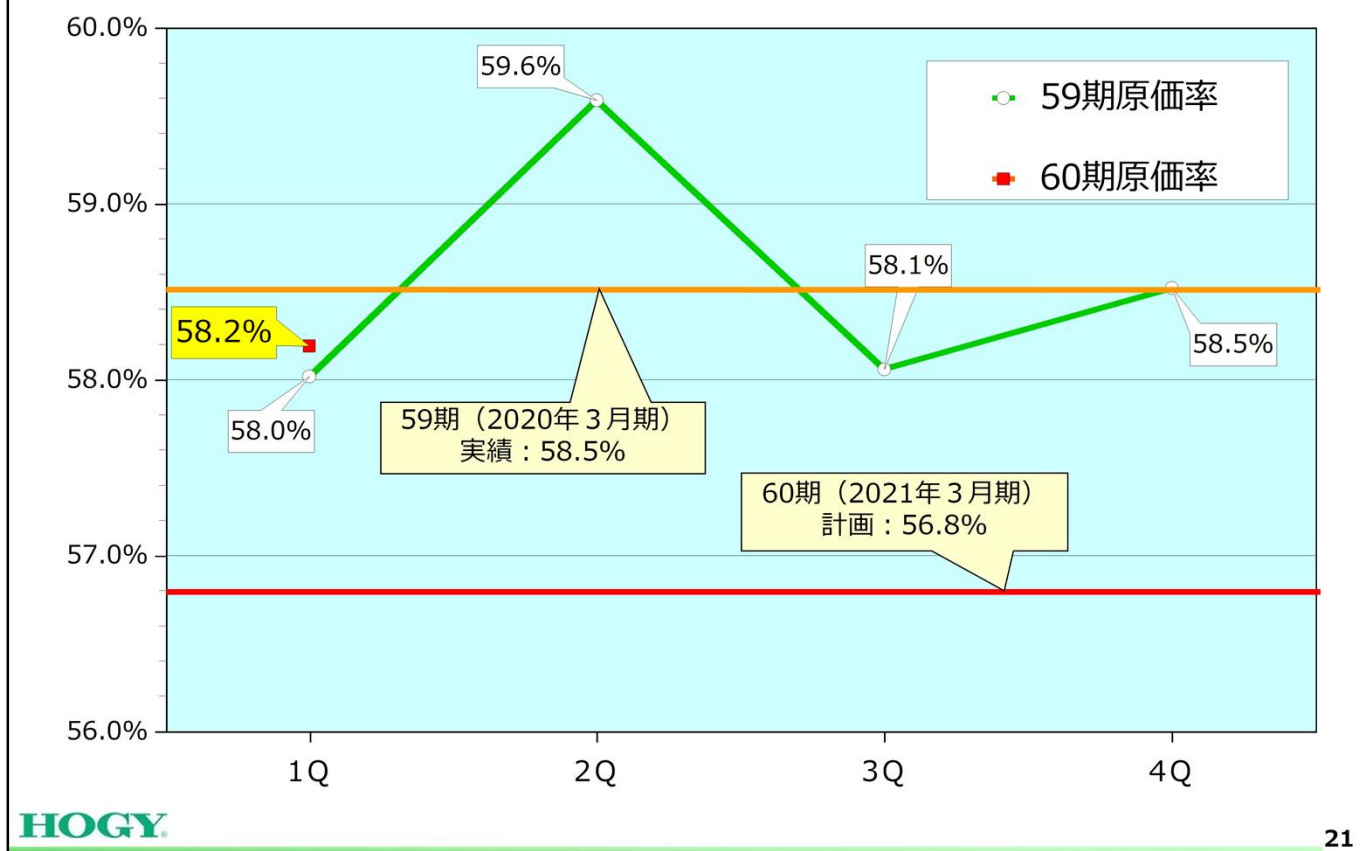
HOGY

19

- ・ 販売管理費：2,358百万円(△101百万円)
 - ✓ 人件費：前年度利益増加に伴う人件費上昇
 - ✓ 旅費交通費、見本費：営業活動自粛の影響
- ・ 営業外：保有外貨預金の為替差益が発生
- ・ 設備投資：1,190百万円(内新工場追加：981百万円)

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書



- 新工場償却費の減少

償却合計 : 4,510百万円 (前年比 : 773百万円減)

- 原価 : 3,700百万円 (前年比 : 513百万円減)
- 販管費 : 810百万円 (前年比 : 260百万円減)

- 新工場稼働による生産性の改善

- コーポレートレート115円 (前期同様)

第60期（2021年3月期）損益計算書



| 単位：百万円 切捨て | 21.3 60期計画 | | 前年比 | |
|---------------------|---------------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 38,700 | | 1,467 | 103.9% |
| 売上原価 | 22,000 | 56.8% | 201 | 100.9% |
| 売上総利益 | 16,700 | 43.2% | 1,265 | 108.2% |
| 販売費及び一般管理費 | 10,300 | 26.6% | 173 | 101.7% |
| 営業利益 | 6,400 | 16.5% | 1,092 | 120.6% |
| 営業外損益 | 430 | | △53 | |
| 経常利益 | 6,830 | 17.6% | 1,038 | 117.9% |
| 特別損益 | 600 | | △1,334 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 5,300 | 13.7% | △229 | 95.8% |
| E P S | 175.34円 | | | |

| 主な増減科目 | 前年比 |
|--------|-------|
| 減価償却費 | △ 260 |
| 人件費 | 247 |
| 地代・家賃 | 42 |
| 見本費 | 36 |
| 広告宣伝費 | 32 |

| 一部株式売却益 |
|-------------------|
| 2020年3月期：1,942百万円 |
| 2021年3月期：600百万円 |

| 配当額 |
|--------------------|
| 2021年3月期：68円（2円増配） |

HOGY

22

- ・ 販売管理費：10,300百万円(173百万円)
 - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
 - ✓ 人件費：利益増加に伴う人件費上昇
 - ✓ その他：販売強化のための費用増
- ・ 特別利益：一部株式の売却による利益計上
- ・ 設備投資：5,200百万円(内新工場追加：3,660百万円)